国立国会図書館　タイトル『ときは問答』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

13-28

ときは問答

ち程にときは清おいはれとなくきよりかり
なひき給ひ来り老木乃花のるうへくちらに
あへ家うあとし子共乃こうめをもけしや
清まゆかしさきになひをとそこらひすくなき
次第なきあろ清よくてさそもそいわり另れ
事い板を紀ぬ母や子ときの極くすゑまそ
よもすれかにはあもしものをと思ひれかり
にそるひうきまうさそこうきよりかり引かん
てあさかしすちきり給ひ来り

国立国会図書館　タイトル『ときは問答』　請求記号　本別13-28

ガラス使用

三人の若さらにをあまりこのめのと故そんさ
せ給ふ母のにこうをいたりていのきかし
つき給ひきりときハんに思ひ今こそうやう
にきともうらなるひのあるなるは又う変め
にをあひぬへしすゑ迄子孫のなるらんをお
家乃をしたり志りしとていまわるとのハ
さいこ乃事をとわるとのをはゆんしやうし
へこうのかさまけま　うしまるとのハおさ
るくて　いまこめのとにいたりまてあり
くらすとせしかとに七歳になるせ給ひたり

ときハあゝ給ひ思召あのうしわかとゆゑ
兄弟の中乃くせものなりこれよへのなせ
をくなるは人のくらをおそろしく給かとり
ふひきこをまつてゝ我ゝろ見てのかをへし
いけ見ゆるゝかんと給いてさまゝりきまはる
人中まゝりやうハ鞍馬寺とゆハゆけの女院此
みちゝうゝ本当ハ大悲たをんてんぬくちゑ
ともにまゝんそくせり半若夜のはゝめゝハよ
りなんとそゆきん

二

とう光明絶して屋ハ女乃みとしてこゝ法
座へもあるゐきゐさんのちゝ乃伝てるを
まらりんそのためにふらいちやくさの孫ん
志ゆうやさありとてを一こんとうめちやと
思ひいりまゐ面我ふりあけてやあいりふ学う
只今高座へあり家人をちこうとこまもさい
なくてもういむさんの女なりなるし人ると
いひなりう女人あさい里なりくしてきよきさ
まい地我ふむ事なしましてや持ひいちつ里川
乃高僧尖僧ならていないちんれううしへ

五

国立国会図書館　タイトル『ときは問答』　請求記号　本別13-28
ガラス使用

のぞむ事しきりなれども我そのころへ出家しゆうけ
さいなき男子の身たるとのぞまぬよりかく
いつまでをしのぶりしてうをあまはらの介ま
おもりみりとうまくらのきんなみて海よ施ろ
まうこふのかまふうせひより何くらのこしそ
すかさいなし女房よちやおよとそいつられ
まら　ときいゆらまくしなされ夏をおあせ
さかし梅の本よりくらの女まてしらして奈つまて
さかし梅そなしへくさへとぞ作きる京光ゆら
悉くと知るはなし由ゑしそま迦釈迦佛と申しれ

志やうぼんわう乃御子なりし悉達太子と申せし
が十九にて出家をとげだんとくせんにおいて
こもりあらら仙人を志とし　其後
くるしきまゝ六年がうしやうぎやうしたまひ志ん
我とけさせ給ひく　此の後に僧に成給ひとん
とや申す又六年いちやう座まで海ところむ諸
ぞ悟しましき十二年我證給ひてかくいふ経
乃中にくく佛となるせ給ひて法をとき釈迦と
申給ひ三十乃法年よりけうんぎやうをとき
給ふ三七日の間なり志ち志よきち乗まきを

とく　あこんきゆうとゆ名十二年此所ひさ也
ちうなりいあくろく屋ねんまそこの法我とき
給ふそういち所こんちゆうあこんさうあこん
ちうあこん此里あむのなりにも女を雖に
いまりめ里をんにやきやうとゆ名三十年ゆ
とき給ふあこらしきなんには一万六百巻二
百六十余品なりけるの内寸我中に一万八百
三十八文字乃数名六十相く四十万字に当り
さらく此をんまやきゆうのなりにも女当座へ
あらまいふようをんと文になきそとよきの

ういるし女房よりやおよくそいりられ来り
ときハ此名まて来ふしくいそ連れさふらひ
来りそやりし此きゆう乃なりに女をなめうり
きやうをん乃あらはしの当座をはおまし法
ひし里まけさせ給ひなる法師のうへれふり
をうへしまらまけてさふらいをんな
乃ふくうへしまいふん此女を一云法り
ひゆへしまけそまかとうし理りとくしよ
さいまし男子我うこてた孫を法くなんし
此なうきやうせをまさにけうの我故見りし

七

せんあうとあめくまゝ乃なう　このことゝ我
ろんせはうちむちしめ為ちうそん　元志や
志也為さうふ至り通しや為のもとに為し
證乃せのとのゝ為ちく一切證の想一法花證
我も門ゝくなんとせり技法花證とゆゑいこ
み乃きゆう也まゝき数は八巻文字の数をゆゑ六
万九千三百八十余字ゝ川も重里技ゝいかう
に妙法まんけきゆうとゝくて第一の筆をしめ
まめうとい為ゝそし我書　為んにハ女作り
ゆは　おきなしと書くこそめうとゝあまを

よまゝまゝまめうと書きり文字ゝよゝかす多
とをゆせ先ゝへなりとよまゝまたり六万九
千三百八十余字乃をんゝへ別の事をは
かめすしてめう我かめんゝ為也妙と書きり
ふ者言ゆものへゝうし筆ゆそいそ法くすん
きこうんこたうゝんなしる為志んきゆう志よめの
なりとうや変我を門ゝく安をうよまんをうゝ
いうきい女をを門ゝく極なり

うの法花經とやハ釈迦佛の清年七十三と
や二月上の八日ときさしめ給ひて八ケ年
の間也里やうせんへ乃十なんなしなんてう
なんなんぞゆなんしんけなんやくさう極なん
しもき果けしやう極なん又百才子果しんき果
なりしなんあくう為乃十一果ハなうこう果
こいを果くるんち果あんらくきやう果ゆしも門
果しもゆ里やう果ふん為ゆをとく果すいきくと
くなんなりしをとくなんしやう梅きやうなきろ
なんしん里きなん是也又里やうせんへ梅く

国立国会図書館　タイトル『ときは問答』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

七品とらせ給ひ今りそくゆいかん座くまう
かんめうおんかん姫りんかんこうに品こん
まうかんふきんかんあまをり想して二十
八かんなりそのかりの乃せうきゆう又子余巻れ
なりにを女高座へありるるといまりしめ給ふ
をんをなしおかけるし為門こうれ拠こうろ
乃うちこそおりしけまとうくまうおかき
にきをとけふさせこまひて此をんこうり
まけなもかけうをちの名おりこうへしりな
ねね迄も今一云けういをやと思ひ面白給う

たうあうきゆう乃なりにせうさんせんりい男
子志よかんなうかりしゆゆい一人女人志あう
しゆうとしまこりあのをんのあ給ハ三子
男乃あらゆうなんしのりろしくのかんなう
我あもせありめを門く女人一人れこうしやう
とすさまは地獄を外にるしをんなにかき家
ところ也　女人一人生まなも地獄のけうひ
来るとて三世の諸佛をしてをまきおちさせ
給ふとこうきけ　と後くうんかを為ぬらに
天台山乃高山へ女の来り事いるしいまう

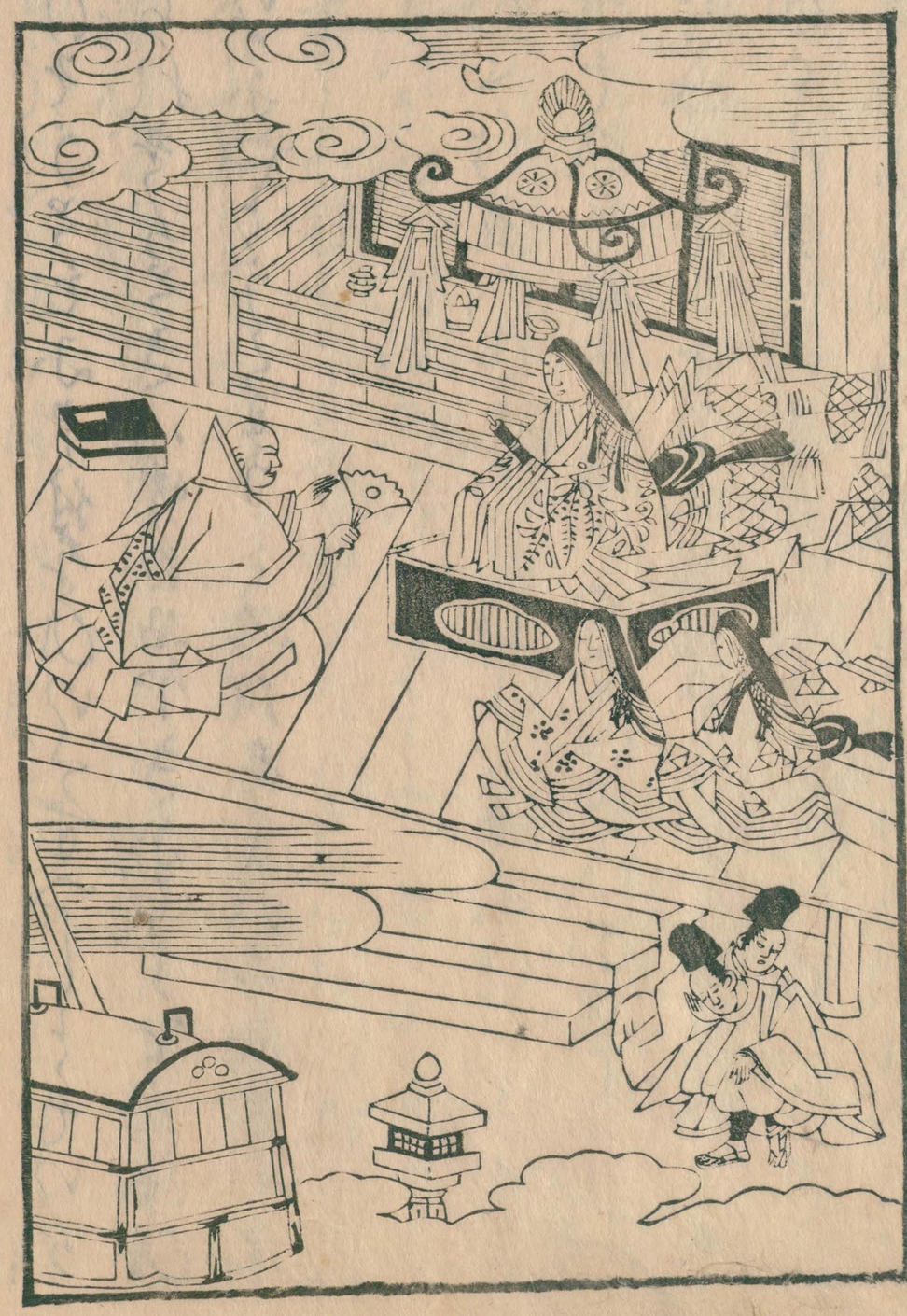
さんままいさんしやうまやうせんに五逆女を
ゆるし給ひ給ひまちりきあきのし海にもゐん
まやくし高野山初瀬なりてらやさへま寺
たう乃ミ孫ヶ五ろ逆なのいちんのかうしへ
のそむ夏乃あらさまはもろかに拘りこ寄り
ういきやうの程のはこなさよ　女と生まれ寄り
事をむもうしやうなるくらの屋こふ
うふしてしつとのおりひあさからすしや
孫んをはくろ事をなしは堂のけりまいそ
とうしてはおぬしませ程をはおなきなるは

十

けそうとをに申付をひいらすへしとそいり
られまるときハ沙石抜かきにもらを立給ひ
いふやとうくまうをの故しらは無言あまし

十一

国立国会図書館　タイトル『ときは問答』　請求記号 本別13-28
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『ときは問答』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

なんぬまて太子とおはせしをとき紀は三人の
きさ紀おはしまは　一をは座しめさうかよ
二乃きさ紀をはい身とてさうなく人にこせ
られこ　貴三ふくこことてあとふようかん
ひまいありその三人のはなりは陪子あまた
おりします嫡子をはらこらたたつきません
ちやうひくなりきやしめさうふよとやは釈迦
佛乃いんにしめさうなきつとおはせし時く
いふよといふ女にみこそのまんけ我うえ
てのち称んさうふんとをやうせしそのやく

そく乃はきすしていまやしめさうふよと生
まて太子なりちきりこめ称ふ大唐のいまう
さむしやうまやうせんまいこなまてをんなは我
我しり称ふ生まやうりいの法をは座ハりは
そし里称ふ色きこいこんまやうふりけて我
ちやう志の二法こうりこし　さはなふ東光も
母乃ちふ座と同くくらしんまんをくそく
せりさいせかしらいしやうないしさしや
なり母の迎父母とりふあこへし女我そしら
なうしまさしく乃ねん我そしむきり父母れねん

を知さうをは只ちく法いにたゝへさりかゝを
そり衣をすこにそめこまたゝらるゝその我
そくと云うへ乃かゝらいかゝりて孫とそろに
かゝしん五人を法師とあまた我名付さりとう
くまう乃ことく小きゆうのりんを志る色りて
こゝろにかゝしんな犯人をきうしやとあまたを
名付て末にかゝらふち乃そらへあるかゝこと
くふくをのかちらて更になしくちまう孫ん
我さきとしていこ法ら事我かんとをる人
のあ孫のちうなさにさきあまた此与ハいれ

十三

まのみとの此時にいかなる人此法教にてこそ
られきうとそひ給ふとうくまうきこし給ふし
我寄と申ハくまうとくてんまうの法代此時
勧進乃ひしまハそもなるかゝしくまん志ゆう
ちうと申せしか南都をいてゝ天台山に若に
まこ給ふせうそう法とゝ申てうきんちとく此
記しまも也技僧都のすゝめにより門くめうらく
こいしし乃法建立ゆけの孫うゐん此みちら
こう本号ハ大照たりんてんふくち志ともに
まんそくせりときハ此右よの事をはさて

十四

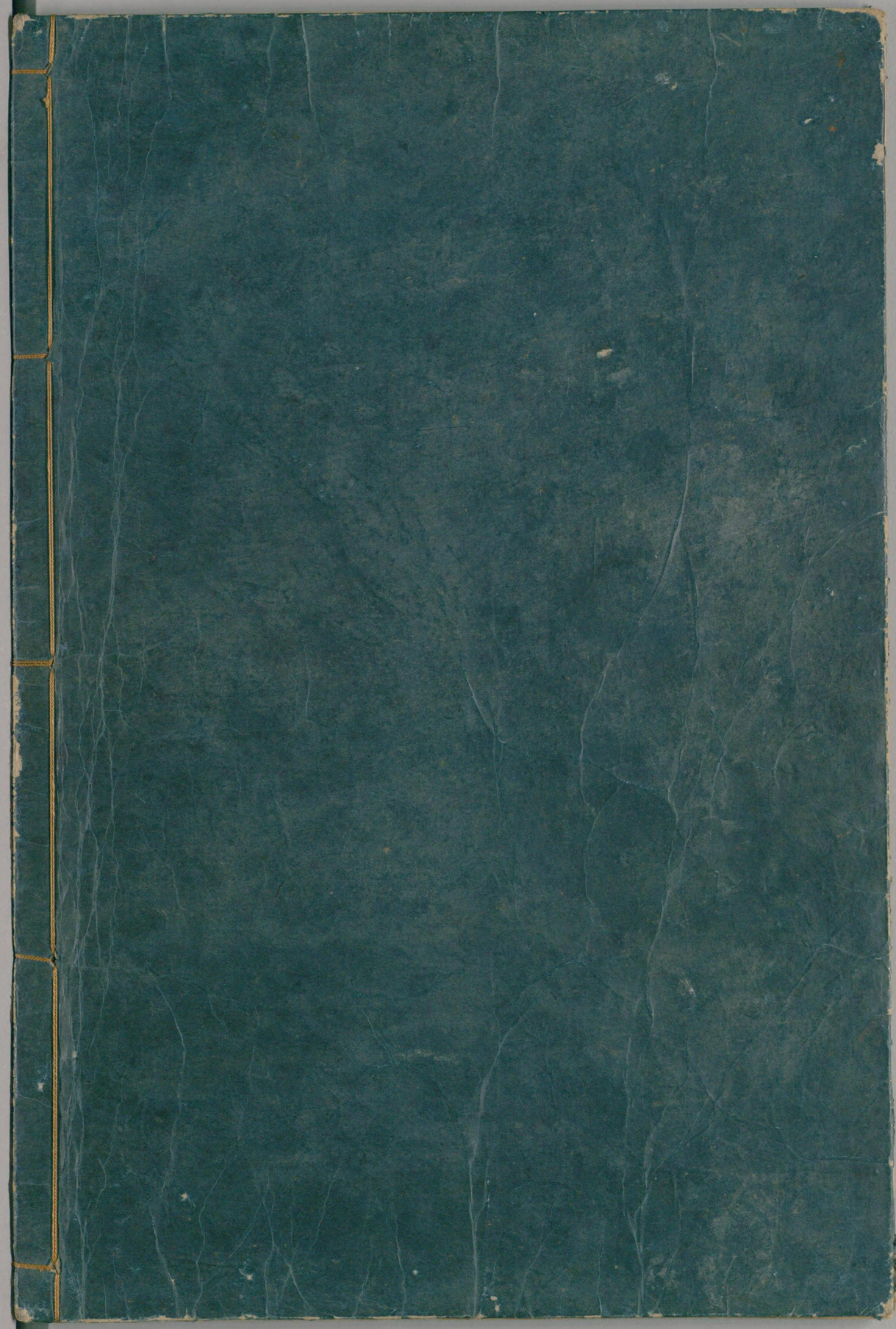
を紀ぬあのえんこうにはからぬ捨そ道を
いふとゆに女我いまぬてゝるゝは女院れみ
まりをいるとあれには立をられきん

国立国会図書館　タイトル『ときは問答』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

別13
25
28

きうへ　ひ　ゑもんてん女をみし里給りは
あん此は弟子は　いもとさちちやうてん女はお
とそ　起こり乃　まきこは　立給ふ事ふと女をえら
えていこさう　色きよさうこまらん女ゐんのみ
ちらときちちやうてんおよそろとりに清ゐを
いこしおりしませこうこを此給して色ら
に当我諾えあんしせんあいりにやゐろこう
とこしそ抑和せまり

十五終



国立国会図書館　　タイトル『ときは問答』　請求記号　本別13-28

ガラス使用